

株式会社 大日光・エンジニアリング（証券コード：6635）

- 連結業績概要／主な変動要因 …… P. 1 ～ 8
- 2021年12月期連結業績予測 …… P. 9
- DNE WAY 長期経営計画 …… P.10 ～ 11
- 新中期計画（2021-2023） …… P.12 ～ 14
- 取組事例紹介 …… P.15 ～ 17
- 会社概要 …… P.18

2021年2月26日
代表取締役社長
山口琢也

2020年12月期 連結業績概要

(百万円)

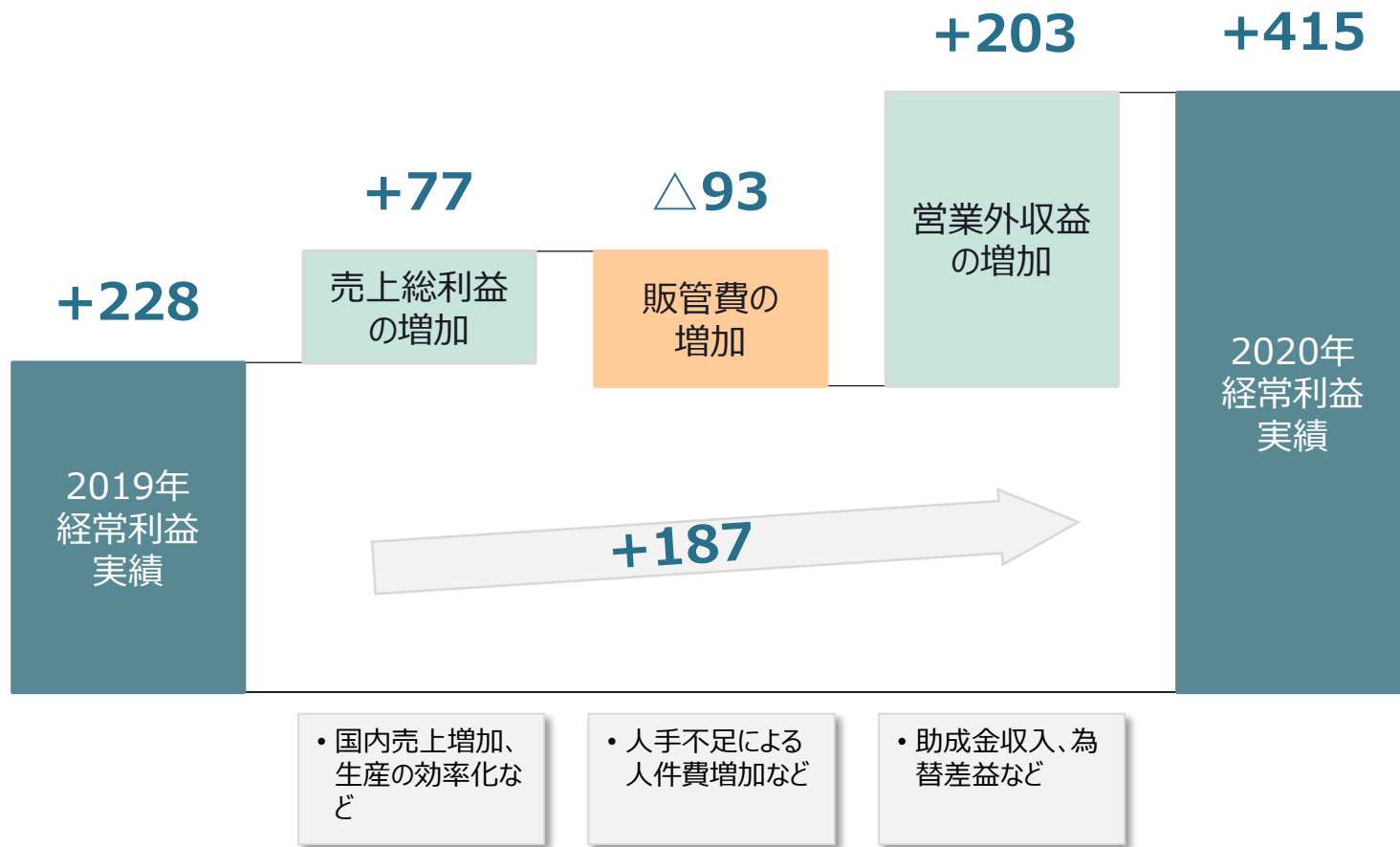
	2019年度	2020年度	前年度比
売上高	27,724	28,004	+279 (+1.0%)
売上総利益 (売上総利益率)	2,530 (9.1%)	2,608 (9.3%)	+77 (+3.1%)
営業利益 (営業利益率)	221 (0.8%)	205 (0.7%)	△15 (△7.1%)
経常利益 (経常利益率)	228 (0.8%)	415 (0.7%)	+187 (+82.1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	363 (1.3%)	306 (1.1%)	△56 (△15.7%)

2020年12月期 連結業績の主な変動要因

	2020年業績 と前年度比	主な変動要因 (+) 増加要因、(-) 減少要因
国内売上高	11,229百万円 19.9%増	(+) 医療機器用：新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け、大型精密検査機器用およびモニタリング機器用等を中心に受注が増加 (+) 産業機器用：半導体製造装置関連の売上が増加 (+) 遊技機向け：年度後半の新機種入替えによる受注増
アジアの売上高	16,759百万円 8.7%増	(-) 香港・中国深圳子会社：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オフィスビジネス機器用売上が減少 (-) タイ子会社：年度前半において車載機器用売上が減少
連結売上高	28,004百万円	(前年同期比1.0%増)
連結営業利益	205百万円 7.1%減	(+) 国内：工場の生産効率アップおよび加工事業会社の利益が追加 (-) 海外：売上高減少により営業利益が減少
連結経常利益	415百万円 82.1%増	(+) 米ドルに対する人民元高により為替差益を計上 (中国子会社) (+) 助成金収入により営業外収益が増加
その他要因		(+) 固定資産売却益、投資有価証券売却益等を特別利益に計上 (-) 投資有価証券評価損他を特別損失に計上
親会社株主に帰属する 当期純利益	306百万円	(前年同期比15.7%減)

連結経常利益 増加要因分析

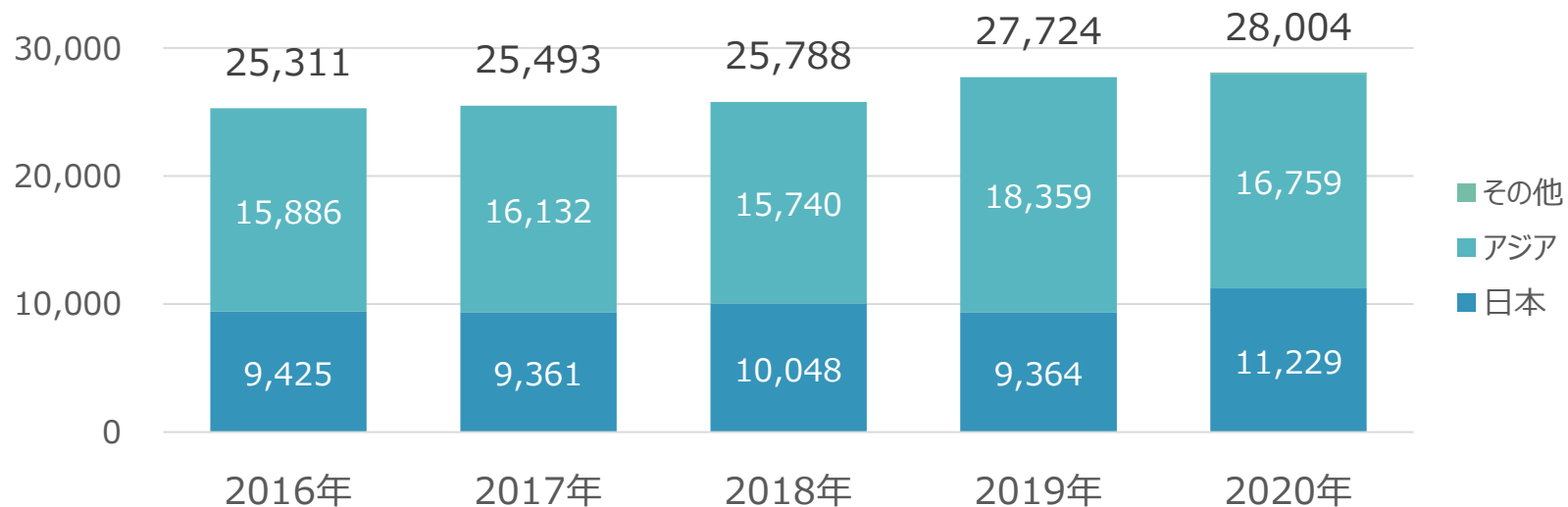
(百万円)



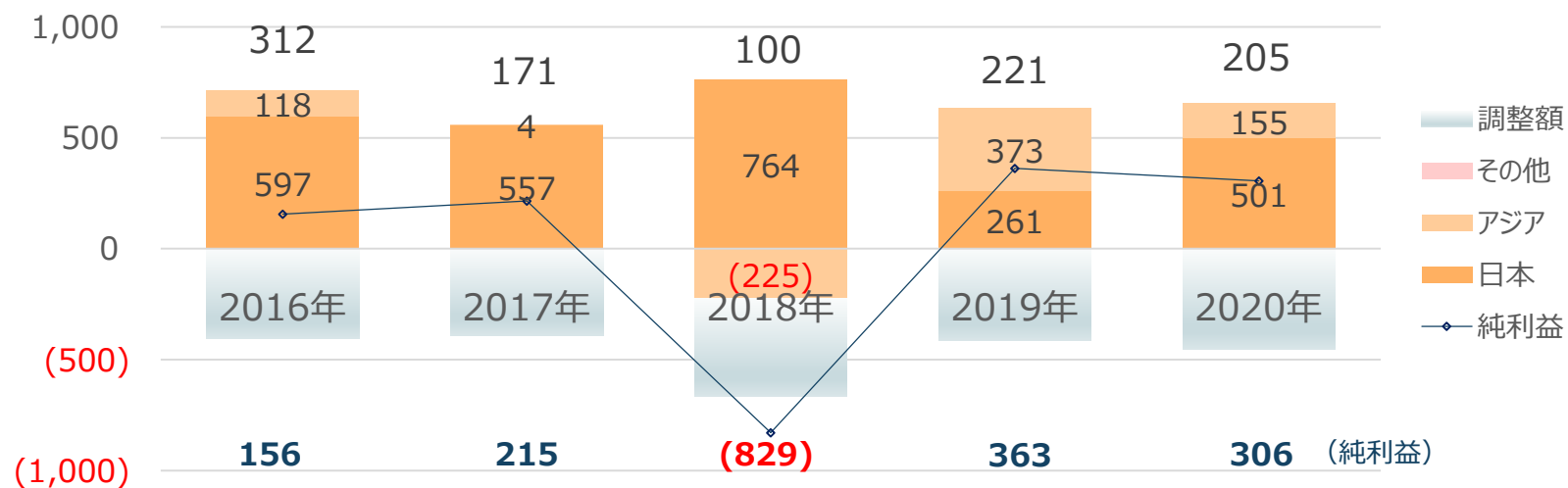
連結業績推移

売上高推移

(百万円)



セグメント利益推移



連結貸借対照表（主な勘定の増減）

（百万円）

		2019年 12月31日	2020年 12月31日	増減			2019年 12月31日	2020年 12月31日	増減
資産	現金及び預金	1,546	1,679	133	負債	支払手形及び 買掛金、電債	5,436	4,757	△679
	受取手形及び 売掛金、電債	7,066	7,530	464		短期借入金	2,869	2,390	△479
	棚卸資産	5,506	4,866	△640		1年以内返済予定 長期借入金	2,189	1,855	△334
	その他	722	232	△490		その他	1,481	1,345	△136
	流動資産	14,841	14,309	△532		流動負債	11,976	10,348	△1,628
	有形固定資産	3,808	4,011	203		長期借入金	4,656	5,696	1,040
	無形固定資産	105	132	27		その他	268	318	50
投資その他	976	1,204	229	固定負債	4,924	6,015	1,091		
固定資産	4,889	5,349	460	負債合計	16,901	16,363	△537		
				純資産	資本金	1,425	1,485	60	
					資本剰余金				
					利益剰余金	813	1,067	358	
					為替換算調整勘 定	717	688	△29	
					その他	△126	53	179	
				純資産合計	2,829	3,294	465		
資産合計	19,730	19,658	△72	負債/純資産合計	19,730	19,658	△72		

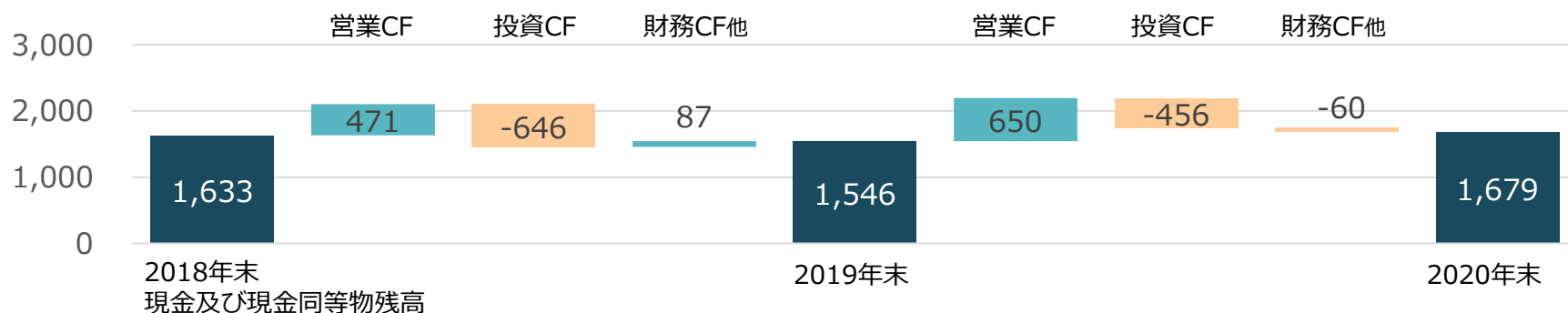
資産・負債及び純資産の状況について

	2020年末実績 と前期末比	主な変動要因 (+) 増加要因、(-) 減少要因
総資産	19,658百万円 △72百万円	(-) 流動資産：受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品減少 ⇒ 前期末比△532百万円の14,309百万円 (+) 固定資産：機械装置及び運搬具、投資有価証券が増加 ⇒ 前期末比+460百万円の5,349百万円
負債	16,363百万円 △537百万円	(-) 流動負債：支払手形及び買掛金、1年以内返済予定の長期借入金が減少 ⇒ 前期末比△1,628百万円の10,348百万円 (+) 固定負債：長期借入金の増加等 ⇒ 前期末比+1,090百万円の6,015百万円
純資産	3,294百万円 +465百万円	(+) 利益剰余金の増加等 ⇒ 前期末比+358百万円の1,067百万円
資産合計・負債/純資産合計	19,658百万円	前期末比△72百万円

連結キャッシュ・フローの状況

連結キャッシュフロー

(百万円)



	2019年末 からの変化	主な変動要因 (+) 増加要因、(-) 減少要因	
A) 営業活動による キャッシュフロー	+650百万円	(+) たな卸資産の減少	757百万円
		(+) 税金等調整前当期純利益の計上	423百万円
		(-) 売上債権の増加	479百万円
		(-) 仕入債務の減少	704百万円
B) 投資活動による キャッシュフロー	△456百万円	(-) 有形固定資産の取得による支出	623百万円
		(-) 貸付金の回収による収入	200百万円
C) 財務活動による キャッシュフロー	△36百万円	(+) 長期借入による収入	3,870百万円
		(-) 長期借入金の返済による支出	3,411百万円
		(+) 短期借入金の純増減額	431百万円
現金及び現金同等物	+133百万円		

2020年12月期連結業績予想数値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	25,000 ~26,500	90 ~180	100 ~220	50 ~150	9.52 ~28.58
実績値 (B)	28,004	205	415	306	57.85
増減額 (B - A)	1,504 ~3,004	25 ~115	195 ~315	156 ~256	29.27 ~48.33
増減率	5.7% ~12.0%	14.2% ~128.4%	89.0% ~315.8%	104.6% ~513.8%	102.4% ~507.7%
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	27,724	221	228	363	70.07

差異の理由

- 経常利益につきましては、助成金収入、為替差益等が増益要因となり、また、海外3拠点(香港、無錫、タイ)における借入残高減少及び金利低下を受け支払利息が減少したことなどから連結経常利益は415百万円(前回発表予想比89.0%)となりました。
- 上記に加えて、固定資産売却益、投資有価証券売却益等の特別利益、投資有価証券評価損、固定資産除去損等の特別損失及び非支配株主に帰属する当期純利益を加減した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は306百万円(前回発表予想比104.6%)となりました。

2021年12月期の連結業績予想

1. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～12月31日）

- ・現時点において新型コロナウイルスの収束を見通すことが出来ず、収束状況によって業績が変動することが予想されるため、次の通りレンジ形式での通期業績予想を開示しております。
- ・ 予想売上高 27,000百万円 ～ 29,000百万円
- ・ 予想営業利益 200百万円 ～ 380百万円
- ・ 予想経常利益 160百万円 ～ 300百万円
- ・ 予想親会社株主に帰属する当期純利益 50百万円 ～ 100百万円

2. 利益配分に関する基本方針及び次期の配当

- ・ 収益配分については、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。
- ・ 利益配当につきましては経営基盤強化のための内部留保の蓄積状況を考慮しながら決定する所存であり、2021年12月期の配当金は1株当たり10円を予定しております。
- * 当社は、2020年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割後の基準で換算した配当額を記載しております。

DNE WAY 長期経営計画（2030）の概要

企業理念：Mission

すべてのステークホルダーから信頼され、期待され、愛される企業集団を目指し、技術とアイデアで社会に貢献する

大日光エンジニアリンググループは、有用かつ安全な製品やサービスを提供し続けることで社会から信頼され、喜ばれる企業集団であり、常に新しいことに挑戦し続けることで、社会から期待され、応援してもらえる企業集団であることが、会社品質と企業価値の向上につながり、結果として社会全体の持続可能性の向上に貢献できると考える。

Phase3
(2027-2030)

地域社会

社会価値

持続可能な社会の実現に貢献する

顧客

顧客価値

大日光ならではの価値を提供する

株主

株主価値

企業価値向上に努め、株主であることを自慢してもらえるようにする

パートナー・取引先

協業価値

協業することで共に成長・成功を共有する

Phase2
(2024-2027)

従業員 & チーム

共創・協働価値

主役は働いている従業員：従業員が「安心」して価値創造活動に取り組む事ができ、「夢」と「誇り」をもって活躍できる環境を整備する

Phase1
(2021-2023)

現在に対して 「安心」できる環境の整備

- ・ 「稼ぐ力」を鍛えて経営基盤を強化する
- ・ 過去に囚われない構造改革を実施し、体制強化を図る
- ・ DXの推進による効率UPを図る etc

将来に向けて 「挑戦」できる環境の整備

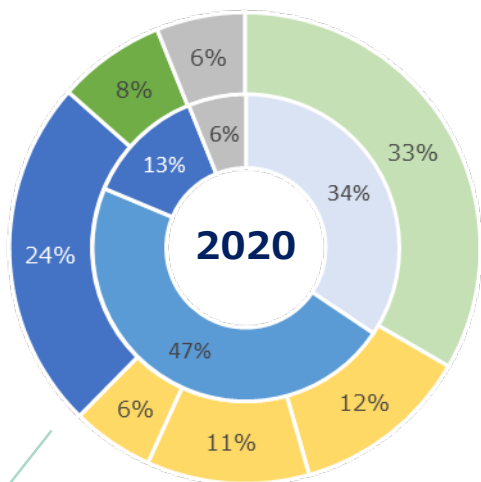
- ・ 挑戦していく意識に変える。
- ・ アライアンス強化による新分野、新技術、新エリアへの挑戦する
- ・ 各種制度整備による会社品質向上を推進する etc

2030年の長期目標達成に向けたロードマップ（セグメント・エリア別）

会社品質を高めることを最優先に、持続可能性を向上させながら改革を進め、
2030年までに社会価値創造企業として生まれ変わる。

Phase1(2021-2023)

ニューノーマル適応期
コロナ禍の中、足元を安定させ、
挑戦できる舞台を整備する経営

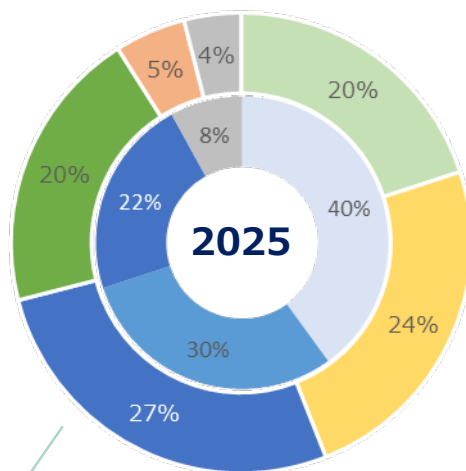


車載の比率が24%に達しているものの、
OBUが1/3を占める。
中国の比率が約半分を占め依存度高い。

-2020-
280億円

Phase2(2024-2027)

ニュービジネス移行期
従業員が「夢」と「誇り」を持って
価値創造活動に挑戦する経営

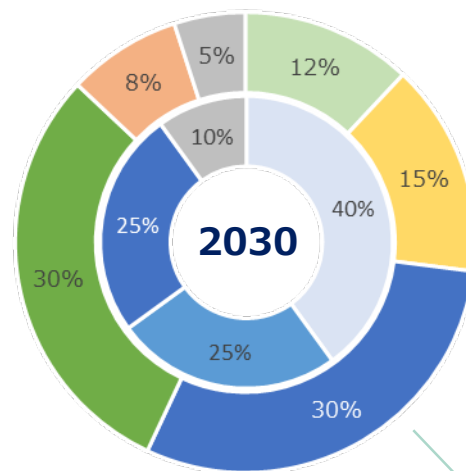


医療を1つの柱とし、OBU依存度を下げる。
海外では、タイ・ベトナムの比率を増やし、
売上高の増加に寄与させる。

-2025-
380億円

Phase3(2027-2030)

社会価値創造企業として確立期
ステークホルダーとともに
価値創造活動に挑戦できる経営



車載/医療で30%を達成。
国内はその他セグメントを加えて50%、
中国と東南アジアでの生産比率のバランスを取る。

-2030-
500億円



グループ重点施策

車載/医療
ジャンルの拡大

- ・グループ全拠点での車載・医療事業推進（日本国内でも車載取引開始、海外での医療案件取得）
- ・グローバルでの車載・医療認定取得
- ・グローバルで車載・医療の管理ができる体制の構築、人材育成

中国地区の生産体制再構築
とアセアン地区の拡大

- ・中国内需向け受注拡大に向けた生産体制の再構築とパートナーシップ強化
- ・与信管理を徹底することを前提に非日系顧客からの受注拡大
- ・成長著しいアセアン地区での生産拠点整備（ベトナム）と受注拡大

国内生産体制再構築と
国内グループ間での連携強化

- ・パートナー企業との連携による中部・近畿地区、九州地区での生産体制構築と受注拡大
- ・国内グループ企業間の連携強化によるシナジー最大化

新規分野での受注拡大と
技術力向上

- ・リチウムイオンバッテリーの取扱いノウハウ蓄積と売上拡大
- ・航空宇宙関連分野への挑戦
- ・新商品を企画しているスタートアップ企業とのコラボ・生産支援による協力体制確立
- ・自社製品の設計・販売拡大に向けた体制強化

社会貢献事業の積極展開
SDGsの推進

- ・SDGsの積極展開
→リチウムバッテリーリユース事業の拡大による環境経営の推進
→太陽光発電の導入推進による脱炭素社会への貢献
- ・指定管理事業等による地域振興事業の推進

DXの積極展開

- ・データ・情報を活用した攻めの経営、効率経営の推進
- ・グループ間、拠点間での業務格差、情報格差の削減につながるIT導入推進
- ・DX推進による業務運営の効率UPとスピードUP

組織力の強化
職場環境整備

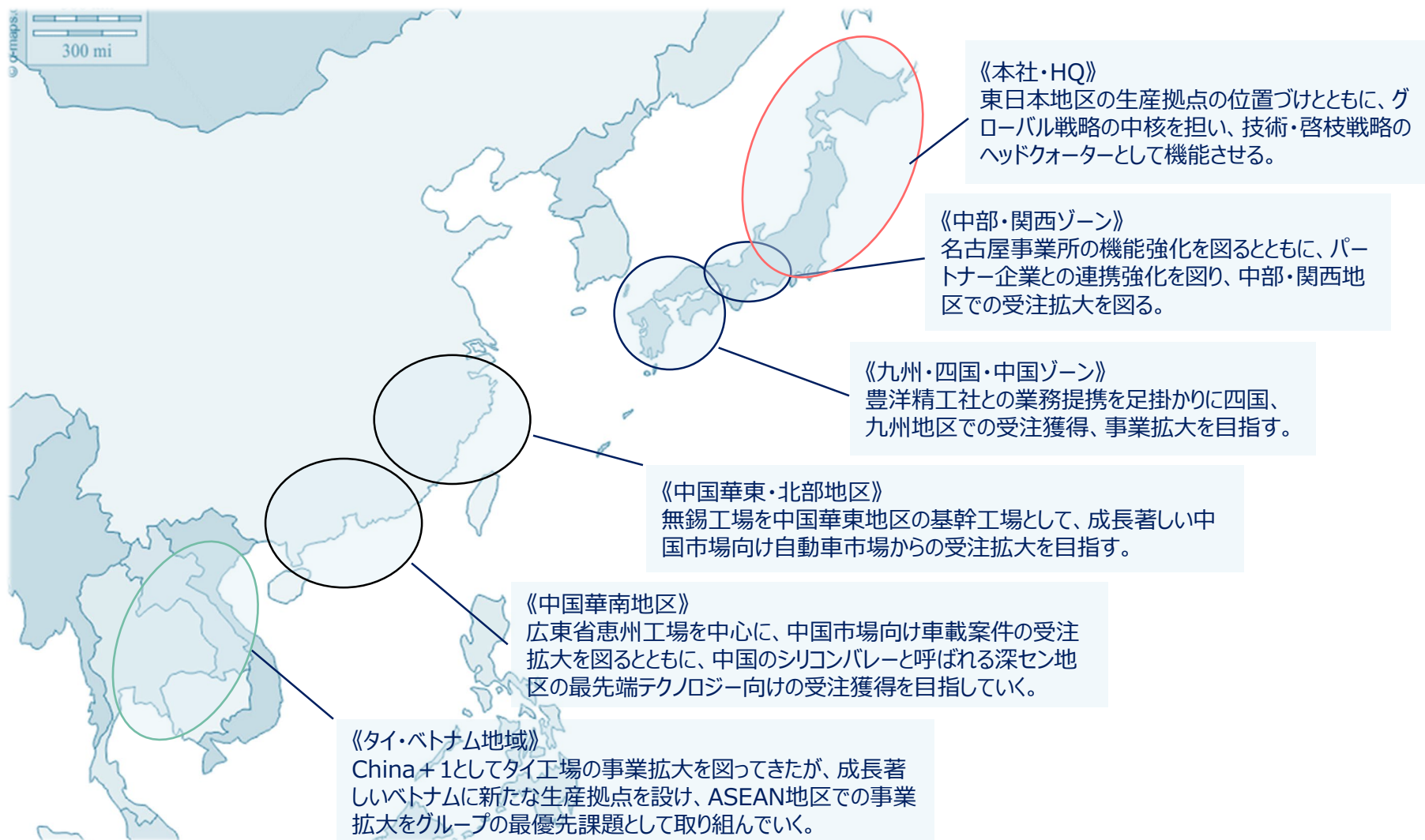
- ・従業員の「働きがい向上」につながる人事制度やその他制度の見直し
- ・アライアンスの推進とパートナー企業との連携強化
- ・内部監査体制の強化等によるガバナンス強化

各事業の戦うべき領域と求める成果により、事業の方向性を再定義

対象となる領域	これまでの領域	これからの領域	
期待される成果	利益率UP（質）	売上拡大（量）	
既存事業	<p>高める 成熟分野における付加価値創出分野（エリア）</p> <p>OA分野</p> <p>光学機器分野</p> <p>アミューズメント分野</p>	<p>変える 既存市場での川上・川下への事業幅拡大・変更</p> <p>回路設計</p> <p>機構設計</p> <p>完成品組立</p>	<p>伸ばす 成長市場での売上UP／シェア拡大</p> <p>車載分野</p> <p>医療分野</p> <p>Liバッテリー分野</p>
事業エリア	<p>これまでの受託型基板実装だけではなく、提案型EMSで付加価値UPを図る</p> <p>日本</p>	<p>これまでの量産型受託加工だけではなく、設計、組立まで受注できる体制を整える</p> <p>中国</p>	<p>これからの市場性が期待できるアセアンでの車載を中心とした受注拡大を図る</p> <p>東南アジア地区</p>
新規事業	<p>創る 企業の持続可能性の向上に向け、M&Aやアライアンスなども含めて新規事業を創出</p> <p>スタートUP企業とのコラボ事業 航空・宇宙関連事業</p>		<p>貢献する SDGsがビジネスの柱として貢献</p> <p>3R事業 地域振興型ビジネス</p>

エリア戦略

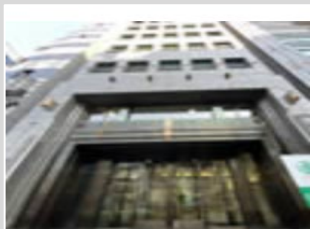
日本、中国、タイの3拠点体制に新たにベトナムを加え、エリア毎に特色を出しながら、対応範囲を拡大し、アジアから世界に高品質製品を提供することでお客様の事業に貢献



取組事例（1） - NCネットワークファクトリー社のグループ化 -

NC会員ネットワークを活用し、多種多様な電子機器製造を一気通貫で受注

(株)NCネットワークファクトリー(NCNF)



NCNF本社

設立日 : 2020年02月
 資本金 : 300,100千円
 所在地 : 東京都台東区柳橋 1-4-4
 代表取締役 : 角田洋晴
 資本構成 : 大日光60%、NCネット38.5%、その他
 業種 : 自動車・電機メーカー向け部品加工受託
 (試作・量産)



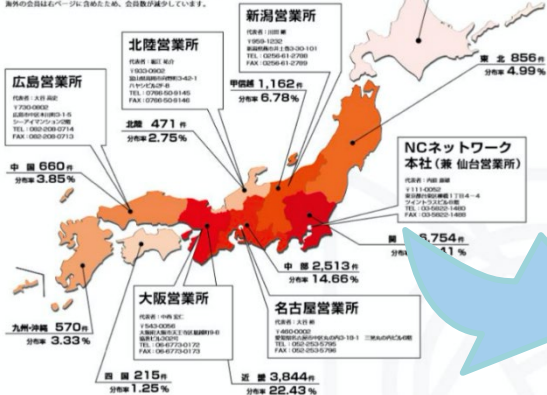
ロサンゼルス本社

NCネットワーク(アメリカ) NC Network, Inc.

設立日 : 2012年09月
 資本金 : 700,000USD
 資本構成 : NCNF 100%
 所在地 : 21171 S. Western Ave. Ste.
 2814, Torrance, CA 90501

NCネットワーク
登録会員数 17,137社

海外の会員はホームページに各拠点ごとの会員数が掲載されています。



電気部品
完成品組立

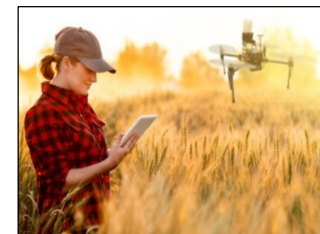
- 電子基板
- 光学機器
- Liバッテリー
- 完成品組立

シナジー効果



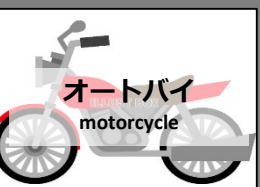
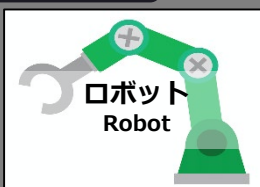
金属部品
成型部品

- 機械加工
- 鋳造、鍛造
- 押出、成形
- プレス、板金



NCNFでの受注実績 (例)

※約18,000社の会員ネットワークにより、立地/業種/業界/企業規模に囚われない部品調達が可能になります。



取組事例（2） - 中国でのアライアンス推進と競争力強化 -

中国での地理的特色を活かし、業務拡大につなげられる体制に再構築

中国
華東地区
-East China-

蘇拓電子（無錫）有限公司

- Sumitronics Manufacturing (Wuxi) Co., Ltd -

中国自動車市場の拡大
EV化を見越した
環境整備

設立日 : 2020年6月
資本金 : 4500万RMB
資本構成 : 住商上海86%: 賽斯無錫14%
工場面積 : 約9,000m²



運営
管理全般

人材
技術支援

TROIS無錫工場と新会社とのロケーション



※TROIS無錫2工場と隣接する新工場での運営開始
※TROIS-新会社でフレキシブルな連携が可能



住商電子(上海)有限公司
SUMITRONICS(SHANGHAI)CO.,LTD.

強力な営業体制
グローバルネットワーク

設立日 : 2002年6月
資本金 : 145百万JPY
資本構成 : sumitronics100%

連携強化



賽斯電子(無錫)有限公司
TROIS ELECTRONICS(WUXI)CO.,LTD.

中国での車載実績
現地管理の定着

設立日 : 2004年3月
資本金 : 1800万USD
資本構成 : 大日光E100%

中国
華南地区
-South China-



惠州市賽斯彩煌電子有限公司

- Huizhou Trois CaiHuang Electronics Co., Ltd -

・競争力強化
・非日系企業からの
受注拡大

設立日 : 2020年6月
資本金 : 500万RMB
資本構成 : 彩煌60%: 賽斯香港40%
工場面積 : 約12,000m²



運営
管理全般

部品支給
技術支援

惠州新会社の全景



※立上げ当初はA棟2F/3Fのみを利用
(徐々に拡大)
※工場全体の床面積は約35,000m²

深圳市彩煌榮昌科技有限公司
Shenzhen CH>T Technology Co., Ltd.

強力な営業体制
グローバルネットワーク

設立日 : 2011年4月
資本金 : 300万RMB
資本構成 : 彩煌集団100%

連携強化



賽斯工程(香港)有限公司
TROIS ENGINEERING (HK) LTD.

営業
部品調達

設立日 : 1994年3月
資本金 : 177百万HKD
資本構成 : 大日光E100%

取組事例（3） - SDGsへの取り組み -

大日光グループ SDGs宣言

大日光グループでは、国際連合が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）を経営行動につなげ、地球環境の維持と地域経済の発展に貢献する事で、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

代表取締役社長 山口 琢也

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



取組1：リチウムバッテリーのリユース事業への参画

環境問題への取り組みの一環として、4R事業に積極的に取り組んでいます。



※フォーアールエナジー株式会社様 HP資料を参考に作成。

取組2：食品ロス削減への取組

『「だいやの森 旬彩館」はこのほど、農産物直売所で食べられるのに廃棄処分となっていた野菜を市内の子ども食堂や福祉施設の運営団体に無償で提供する取り組みを始めた。食品ロスと地域貢献が目的。』



大日光・エンジニアリングが国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」達成に向けた取り組みを進める中、SDGsに基づく食品ロスの削減などにつなげようと、今回の無償提供を企画。』

※2021年1月12日 下野新聞の記事より抜粋

取組3：脱炭素社会への取組

根室、轟に続き、杉の郷工場への太陽光パネル設置等により、年間4.5メガワット時のクリーンエネルギー供給に貢献しています。

※轟工場太陽光パネル 2021年1月撮影





- ◆ 会社名 株式会社 大日光・エンジニアリング
- ◆ 英訳名 Di-Nikko Engineering Co., Ltd.
- ◆ 代表者 代表取締役会長 山口 侑男
代表取締役社長 山口 琢也
- ◆ 本社所在地 栃木県日光市根室697番地1
- ◆ 設立 昭和54年9月（1979年9月）
- ◆ 公開市場 東京証券取引所JASDAQ（証券コード：6635）
平成19年3月上場（2007年3月）
- ◆ 資本金 8億7,369万円 （2020年12月末現在）
- ◆ 従業員数 単体 231人 連結 1,158人 （2020年12月末現在）
- ◆ 主要業務 電子部品実装を核とするエレクトロニクス製品の受託加工事業
 - 基板設計から、最適部品の調達、技術者の派遣、製造、物流までのサービスを一貫して提供
- ◆ 連結子会社 国内4社、海外4社 （2020年12月末現在）
- ◆ 持分法適用関連会社 国内1社、海外1社 （2020年12月末現在）

この資料は、投資家の皆様の参考にしていただくために、株式会社大日光・エンジニアリング（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢、及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性がございます。

投資に際しての最終的なご判断は、ご自身のご判断でなされますようお願い申し上げます。